海島冒險奇譚　海底軍艦

序

肝付兼行

青空文庫

夫れ海は地表百分の七十三を占め、以て吾人の棲息する陸土を包圍す。故に人類として又國民として世界に雄飛せんとする者は、必す先つ此包圍を破りて激浪怒濤の間に縱横奔馳するの元氣無かる可らす。英國何者そ、獨逸何者そ、佛國何者そ、露國米國何者そ、苟も雄を宇内に爭ふ者は、一として此元氣の勃興發動底止する所を知らさるに非すや。清國何者そ、韓國何者そ、土國何者そ、西國葡國何者そ、徒に廣大なる土地衆多なる人民を有するも、元氣銷沈して常に人後に瞠若たるに非すや。均く是一國なり、而して盛衰の顯著なる彼の如し。是豈故なしとせむや。語に曰ふ、天に順ふ者は盛り、天に逆ふ者は衰ふと。前者の以て盛なる所の者は、天に順へはなり。後者の以て衰ふる所の者は、天に逆へはなり。夫れ我か海國民たる者は、抑前者たらむことを欲する乎、將た後者乎、固より智者を待て後知らさるなり。

大瀛の水沌々渾々、其勢滔天の如きも、其源を繹ぬれは、潺々たる山間小流の湊合に非すや。葱嶺の山巍然として雲表に聳え、將に天を摩せむとするの慨あるも、其源を究むれは、微々たる路上細塵の集積に非すや。夫の強國の以て雄大を致す所のものも、亦其源を推せは、總角卯たり、紅鬟燦たる、可憐の兒女教育の發展に因するや、幾多の事實之を證して餘りあるに非すや。而して其然る所以のものは何そや、皆克く天に順ふの結果たらさるはなし。然らは則ち、天下の大計知るへきのみ。雄を宇内に稱せむと欲せは、國を擧けて大に女兒教育の法を講し、以て其元氣の本源を開發するに若くはなきなり。今や我邦の教育は、駸々其歩武進むか如しと雖。仔細に其状を察すれは、實に寒心に堪へさるものあり。請ふ内外の實例を擧けて之を證せむ。

回顧すれは今を距る十五年前　我か軍艦筑波の遠く新西蘭に航し、其澳克蘭港を解纜するの前日、艦長は滯港中其市民より受けたる懇迎を謝し、併せて別を告けむか爲め、一士官に命し風波を衝きて一艇を陸に特派せしめたり。而して其艇の、或は波頭に上り、或は浪底に下り、殆と半程を進むや、之と相反して、一艇の帆を張り浪を破つて、本艦に向ひ快走し來たる者あり、艦員皆怪み衆眸之に注く。須臾にして本艦に達し、其乘員の舷門に上り來たるを見れは、何そ圖らむ、※る數日、我か艦員の接待に、懇篤周旋の勞を取りし、妙齡の貴夫人令孃にして、總員八名一人の男子を混へす、我か明日の解纜を新紙に知り、來りて惜別の意を表せむか爲めならむとは。其風姿の美にして擧止の健なる、梅花積雪を凌くの慨あり。其公誼に厚く友愛に深き、以て四海兄弟の情を表するに足る。此の如くにして始めて大國民の母たり配たるに耻ちすと謂ふへし。

之に反して、昨初夏、我か海軍に於て主計官を學士に募るの擧あり。某法學博士、之か斡旋の勞をとりて、漸く五人の志願者を得たり、然るに怪むへし、數日ならすして此五人の者、悉く其志願を撤回せむとは。而して密かに其状を探聞すれは、皆是家母の不承諾に因ると、蓋し其主因の、舊時の謬想たる海洋是地獄なる觀念の發現にあるや知るへし。

我か海國民たる者、此二譚を讀て、如何の觀をなすや。堂々たる大學々士の家母にして、今日尚此嘆あり。其他推知すへきのみ。是余の實に寒心に堪へすと言ふ所以なり。

蓋し教育の根底は學校にあり、學校の根底は家庭にあり、而して家庭の根底は家母にあり。嗚呼、將來の國民をして開國進取の民たら

しめむか、將た退嬰鎖守の民たらしめむか、國家盛衰の大問題は、一に家母の方寸に決せむとす。我か邦教育の大※渡期に遭遇せる、敷島女子の責任や、重且大なりと謂ふへし。

余か海國民として、教育上今日懷抱する所の意見、此の如しと雖、教育の事は多端、獨り學校と家庭とを以て滿足す可らす。故に學校家庭の内外に論なく、亦其直接と間接とを問はす、苟も海事思想の扶植に資するの擧あれは、余は常に双手を擧けて之を賛成す、況や其殊に婦女を感化するに有効なるものゝ出るに於てをや。近時漸く歷史に小説に、海事を談する者あるを見るに至れるは、余の大に悦ふ所、今又知友上村海軍少佐の、本書を携へ來つて、著者押川春浪氏の爲に、序を余に徵するあり。取て之を閲するに、資料を一種の專門知識に假るの述作たるに關せす、趣向の深遠にして、行文の輕妙なる、虚中に實を寫し、實中に虚を叙して痕跡を見す、其筆力能く我か男兒を奮起せしむると仝時に、亦女子を感動せしむるに足るものあり。乃ち此著たる、間接上我か國民教育の本源を啓發するの資に供し、裨益する所鮮少ならさるへし。喜に堪へす聊所見を書して以て序に代ふ。

明治三十三年十一月上澣

伴鴻海客　肝付兼行識

青空文庫情報

底本：「海島冒險奇譚　海底軍艦」名著復刻日本児童文学館、ほるぷ出版
　　1975（昭和50）年10月発行
底本の親本：「海島冒險奇譚　海底軍艦」文武堂
　　1900（明治33）年11月15日
※「諛のつくり」は「デザイン差」と見て「臾」で入力します。
※「艦の16かく目の「一」が「丶」」は「デザイン差」と見て「艦」で入力します。
※「纜の16かく目の「一」が「丶」」は「デザイン差」と見て「纜」で入力します。
※「「褒」の「保」に代えて「丑」」は「デザイン差」と見て「衰」で入力します。
入力：川山隆
校正：土屋隆
2009年8月31日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

海島冒險奇譚　海底軍艦

序

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　肝付兼行
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/